

## 令和4年度 第1回 社会教育委員会議 会議摘録

開催日時：令和4年5月26日（木）午前10時00分～午前11時45分

開催場所：精華町役場6階審議会室

出席委員：

高鍋房美委員長・村上栄副委員長・尾崎麻由美委員・北尾直美委員・播磨富士子委員・堀口紀代美委員・尾崎万佐子委員・丸山琴羽委員・山田昇委員・吉田一雄委員

出席事務局職員：

教育長 川村智・教育部長 浦本佳行・生涯学習課長 田原孝一・社会教育係長 友永貴信

傍聴者：無し

内 容：

議事

- (1) 委員長、副委員長の選任について
- (2) 各種委員の選任について
- (3) 令和4年度社会教育委員会議の年間行事予定について

報告

- (1) 社会教育指導の重点について
- (2) 精華町二十歳のつどいについて

会議内容

### 1 開会 田原課長

令和4年度及び5年度の社会教育委員の選任については、過日の教育委員会において選任同意を得て、精華町社会教育委員に関する条例第3条の規定により、令和4年4月から令和6年3月までの2年間の任期で、社会教育委員に就任をいただく。

### 2 川村教育長あいさつ

精華町教育長の川村です。どうぞよろしくお願ひいたします。この後、再任の方で8名、それから新任の方で4名、全部で12名の方に委嘱状をお渡しします。これから本町の社会教育委員として2年間ご活躍いただきますようお願い申し上げます。精華町社会教育、生

涯学習の振興のために、皆様のご経験とお知恵をいただきますようどうぞよろしくお願い申し上げます。

新しく着任いただきました委員におかれましては、社会教育委員というのはどういうことをする委員なのか、どういう会議なんだろうかということ、若干不安を感じておられる方があるかもしれません。皆様のご経験とか、着想いただいたことについてご発言いただければと思っております。その中で前向きなご意見、そして大胆なものも含めまして、お考えやご意見をいただき、よりよい社会をつくる、そしてよりよい元気な精華町をつくるということでご発言をいただければと思います。

さて、昨年度をもって退任されました委員は3名の方でございまして、今回新たに4名の方が委員となります。退任されましたのは、田中智美さん、上村卓三さん、網野俊賢さんです。この場にはおられませんけれども、様々な貴重なご意見、そして様々な場でご活躍をいただきました。深く感謝を申し上げます。

新任の方は、資料にその旨記しておりますが4名いらっしゃいまして、今回、若い世代の委員にも就任いただきまして、社会教育委員会が大変活性化するのではないかと期待をしております。今年もコロナ禍により引き続き様々な活動が制限されているところですが、ウィズコロナという状況下で、できる限りの取組を行っていかうという思いでおります。皆様の支えにより大いに取組が進みますことを期待しており、また皆様の積極的なご参加をお願いしたいと思います。

### 3 委嘱状の交付

川村教育長から出席委員10名に委嘱状を交付した後、各委員から自己紹介。事務局職員も自己紹介を行った。

### 4 議事

#### (1) 委員長・副委員長の選任について

事務局から社会教育委員の職務等について、社会教育法、精華町社会教育委員に関する条例、精華町社会教育委員会運営規則に基づき説明した。

委員の互選により、委員長に高鍋委員、副委員長に村上委員が選任された。

#### ○高鍋委員長就任あいさつ

このコロナ禍の2年間、私自身もいろいろな予定がなくなり、新聞を見たりユーチューブ

を見たりする時間が増えてきた。この同じ時代を多様な視点でいろいろなところで活躍している人がいるんだと考えさせられる。

物事を成功させるのに一番手っ取り早いのが、成功した人をまねることから始めること、という言葉に出会った。地域活動でもたくさんのところでたくさん成功例があるものだという事実に実感した。そういったことを、社会教育委員のメンバーで、文化協会の方、スポーツ協会の方、子育て支援の方、学校教育で活動された先生方、いろんな視点で議論を進めるなかで生涯学習、生涯教育というものをもう一度考え直せたらと思う。

#### ○村上副委員長就任あいさつ

相楽東部広域連合教育委員会で地域学校協働活動を担当している。地域の力というのは、子どもたちにとって大変大きな支えであるということは周知の事実である。それぞれの地域で、その力をいかに結集していくかが大切である。精華町でも中学校区に地域学校協働本部が設置されている。何かアドバイスや支援ができればと考えている。子どもたちの幸せのために頑張りたい。

#### (2) 各種委員の選任について

社会教育委員が従事する各種委員について、事務局から内容説明。次のように決定された。

- ・精華町民生委員推薦会委員：吉田委員
- ・精華町教育委員会所管施設指定管理者選定委員会：高鍋委員長
- ・精華町教育委員会所管施設指定管理者評価委員会：高鍋委員長
- ・精華町子ども祭り実行委員会委員：尾崎麻由美委員
- ・精華町子どもの読書環境づくり推進委員会：播磨委員
- ・精華町明るい選挙推進協議会委員：丸山委員
- ・いじめ問題対策委員会委員：村上副委員長
- ・精華町町民健康づくり推進協議会委員：堀口委員
- ・京都府山城地方社会教育連絡協議会 副委員長：村上副委員長
- ・精華町地域で子どもを育てる連絡協議会委員：高鍋委員長
- ・町民文化賞・スポーツ賞選考委員：高鍋委員長
- ・青少年健全育成協議会協力委員：高鍋委員長
- ・精華町人権啓発推進委員：全委員

### (3) 令和4年度社会教育委員会議の年間行事予定等について

事務局提案として、この2年間、会議の開催すら難しい時期が続いたので、今年度は1回でも多くの会議を持ちたいこと、また、管外研修や先進地視察も実現したいこと、社会教育委員会議をこの2年間とは違う、コロナ禍以前に近い形に戻すように会議を運営していくことを説明して、各委員に意見と承認を求めた。

#### ○村上副委員長

社会教育委員とは、ということが大きな命題で、前年度もそれがこの会議での話題となった。委員の皆さんの意見を伺いたい。

それから、管外研修の話があったが、全国の社会教育研究大会とか近畿の大会にも参加して見聞を広げることも社会教育委員にとっては大きな財産となるので、ぜひ実施して参加していただければと思う。

#### ○高鍋委員長

今回の委員就任で、現役の学生さんに入っていた。会議の中で個々の背景を伺うことは申し訳ないが、なぜ社会教育委員になろうと思われたかを、ここでお話しただけならありがたいと思う。もしできれば、ここでしたいこととか、何か自分が希望されたことを、逆に若い世代の方から提案していただき、この会議が融合の場となれば、精華町の社会教育委員会議が他の市町村よりもずっとバージョンアップされたものになることを期待しているので、何か思いがあればお聞きしたい。

#### ○丸山委員

そもそも社会教育委員を知ったのは、町の広報紙で読んで、募集があることを知ったところから始まった。そのとき私は社会教育委員が何をやっている機関なのかをほとんど知らない状態であった。

自分は法律とか行政に興味関心があるので、社会教育委員や役場や町の議会がどのような取り組みを行っているのか、ということから興味を持ったこともきっかけである。もともと高校生のときから、日本の教育改革、特に受験戦争などに少し疑問を持っていたこともあり、現代社会が、学習の仕方とか学びの姿勢についてどんどん変わりつつある時代だろうと思っていた。

社会教育委員になって何がやりたいかということを考えてときに、何か教材を与えられる学習とは違う勉強の方法とか、地域の人と関わる中で学ぶという経験、体験とい

うことを私ももっとやりたい気持ちがあった。社会教育、生涯学習と言われることをもっと高校生とか大学生にもできる、自由に学べることを実現できたらいいなという思いを抱いている。

何がやりたいか具体的にはまだイメージができていないが、高齢者と若者との学びの融合であるとか、上の世代から教えてもらい自分が何かを学んで、それを次の世代につなげていくようなループができたらいいなと考えている。

#### ○山田委員

私も社会教育委員がどういう形で活躍されているのかをネットで調べてみて、果たして対象が誰なのか、どこを目指しているかということを知りたかったが、その後どういう活動、具体的に何をするのかということがまだ見えてなかった。

私は学校活動の支援員として地元の小学校によく行った。地域で何ができるか、精華町で一体何ができるかという話の中でいろいろ注目はしてきたが、自分から意見として出せばいいが、具体的にどう実現されていくのかを見ていきたいという思いがある。

#### ○尾崎万佐子委員

社会教育委員会会議は発言の言葉に重みがある会議だと思う。勉強して社会教育委員の質を高めたい。社会教育は広いテーマを扱うが、原点から勉強したい。管外研修はぜひ実施してほしい。

私が務めている民生児童委員の会議は月1回で、高齢者から子どもまで視点を当てて、地域で何ができるかをテーマに、委員のいろんな意見や発言がある。この社会教育委員会会議でも、私たちそれぞれの立場で、しっかり活動していきたい。

子どもたちの幸せのために何ができるか、そしてここに学生さんの視点が入ってくる、若い世代が精華町で地域をしっかりと見つめ直して考えてもらえることに大いに期待したい。いろいろな団体とも連携し、協力し合うことも大切であると思う。

## 5 報告

### (1) 社会教育指導の重点について

精華町教育大綱に基づく令和4年度社会教育の重点の内容について、昨年度からの改正箇所を説明のうえ承認をいただいた。

### (2) 精華町二十歳のつどいについて

成人式に関して、平成30年に民法の定める成年年齢が20歳から18歳に引き下げられた。この改正法が令和4年4月1日から施行された。今のところ全国的に見ても成人式そのものについては、成年の年齢が18歳となっても、従来どおり20歳の若者を対象に式典を行うことで全国の自治体が進めている。来年の成人の日に合わせた式典というのは、大部分は二十歳の若者を祝う式典ということになるだろう。精華町も、18歳に引き下げるのではなくて、20歳の若者をお祝いする会として実施する方向で進めていきたい。ただ、これを成人式という名称のまま使うと混同するため、名称については「二十歳のつどい」としたい。→承認を得た。

## 6 その他

京都府主催の社会教育委員研修会など社会教育事業の予定について説明した。また、次回の会議日時について、日程調整を行った。

## 7 閉会あいさつ

### ○村上副委員長

本日はお忙しい中、ありがとうございました。そして新しく委員になりました尾崎万佐子委員、吉田委員、山田委員、丸山委員、どうぞよろしくお願ひします。活発に意見交換できる雰囲気の中でのこの会議を運営したいという委員長の思いもございますので、またフラットにご意見を頂戴できればと思います。

事務局から報告がありましたけれども、6月10日の山城地方社会教育委員連絡協議会の総会で前社会教育委員の網野俊賢氏に講演をしていただきます。人生100年時代、生涯学習者を目指すということで、すばらしい先生ですので、しっかり研修してまいりたいと思っています。

それから、コロナ禍の関係で、私も精華中学校でコミュニティ・スクールのシニアスクールに関わっていますが、やはり今年の申込者は少なく30名前後です。一番ピークでは、150名ぐらいの申込みがありましたが、感染拡大防止で講座が開けないということもございます。なおかつまだまだ学校のコロナ対策の状況もございます、リモートでの講座にしようかという案もありまして、そうすると高齢の方が多いので、リモートとなると二の足を踏む方もいらっしゃるんじゃないかなということもあります。

社会教育委員として、それぞれの立場で皆さん一生懸命頑張っておられます。尾崎万佐子

委員がおっしゃられましたけれども、ぜひ子どもたちのためになる活躍をしていただきまして、その成果をまたこの会議のなかで交流できればと思います。

今後ともどうぞよろしく願いいたします。本日はありがとうございました。